

2020年度事業報告書

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月31日

目 次

1. 概況報告	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業	1
1) 2020年度定時総会の開催	1
2) 理事会の開催	1
3. 委員会の開催に関する事業	2
1) JAPAN PACK 2022 実行委員会	2
2) 包装学校企画運営委員会	4
3) 広報推進委員会	5
4) ISO/TC313国内審議委員会	6
5) 技術委員会	7
6) IOT研究会	8
7) その他	9
4. 会員等諸会合の開催	9
1) 新年賀詞交歓会	10
2) 歳末特別講演会	10
3) 支部会の開催	10
5. 調査、各種情報事業等に関する事業	10
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査	10
2) 技術情報の収集・提供等	11
3) 各種情報の発信等	11
6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業	11
1) 包装学校事業	11
2) 青年部会	12
3) 各種セミナー・講習会	13
7. 国の施策に関する事業	14
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業	14
8. その他関連事業	14
1) 包装機械会館の運営に関する事業	14
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業	14
3) 福利厚生に関する事業	14
4) 関連産業との連携	14
9. 会員の現況	15
1) 入 会	15
2) 退 会	15
3) 会員登録の変更	15

1. 概況報告

わが国包装機械産業の2019年度の生産実績は4,718億円で、対前年度比1.5%の伸びとなった。一方、2020年度は、新型コロナウイルスの影響があり、国内外ともに設備投資に減速がみられる。機械統計（経済産業省）の生産高では暦年ベースで5.2%減（1-12月確報値）、貿易統計（財務省）の輸出高は0.4%減で推移しており、前年度を下回る見込みとなっている。

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、来年度開催のジャパンパックの準備に向けた計画、包装学校の開催方法をはじめ、各委員会の運営方法など、変更を余儀なくされた。その中で事業計画に基づき会員サービスの向上、また安定的な運営等、業界の発展と工業会の体制強化に努めた。

2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

1) 2020年度定時総会の開催

本年は新型コロナウイルスの感染拡大により、開催日を延期し、規模を縮小して開催した。事業計画ならびに定款の規程に基づき、2019年度事業報告案の審議・承認、2020年度事業計画の報告を行った。また本年は任期満了に伴う役員の改選について審議・承認された。なお予定していた懇親会は中止となった。

※2020年度定時総会

月 日：2020年6月17日（水）
会 場：鉄鋼会館 701号室（東京都中央区）
出席者：100名（委任状による出席も含む）

2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、6月、9月、12月、2月の計5回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況の確認、各議案の審議・承認、役員の業務執行状況等の報告を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

※第348回理事会

月 日：2020年6月17日（水）
会 場：鉄鋼会館 811号室（東京都中央区）
内 容：2020年度定時総会上程議案の確認／新規入会の承認／2020年度事業計画案・収支予算案の承認／ジャパンパック2021出展料改定の審議／理事・監事の各委員会の役割の確認／経済産業省ご挨拶及び施策説明

※第349回理事会

月 日：2020年6月17日（水）
会 場：鉄鋼会館 701号室（東京都中央区）
内 容：会長の選出／役付理事の選任

※第350回理事会

月 日：2020年9月24日（木）
会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）／オンライン
内 容：新規入会の承認／役員改選・選考・任期等の基準（内規）改正／支部会規

程改正／2020年度の行事開催／報告事項

※第351回理事会

月 日：2020年12月2日（水）
会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）／オンライン
内 容：各事業報告／今後の行事予定（理事会、支部会等）

※第352回理事会

月 日：2021年2月17日（水）
会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）／オンライン
内 容：新規入会の承認／役員の補充の承認／2020年度事業報告書（案）／2020年度決算報告書（案）／2021年度事業計画（案）／内部規程（育児休業・介護休業）改正

3. 委員会の開催に関する事業

事業計画に基づき、JAPAN PACK 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、ISO/TC313国内審議委員会、技術委員会、IOT研究会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

1) JAPAN PACK 2022 実行委員会

JAPAN PACK 2022実行委員会（委員長：山本 治男氏 株式会社東京自働機械製作所社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的として、来年（2022年）2月に「JAPAN PACK 2022」（日本包装産業展）を開催するため、各種準備に係る委員会活動を推進した。

なお、期首においては2021年10月5日（火）より同月8日（金）まで4日間の会期計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大および東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期等に伴い、2022年2月15日（火）より同月18日（金）までの4日間に変更。会場も当展史上初めて東京ビッグサイト西・南展示棟となることを当年度11月の第1回拡大正副実行委員長会議ならびに12月の第3回実行委員会で確認。安全安心な会場づくりへ向けた各種非接触・ソーシャルディスタンス対応、バーチャル展示会併催によるビジネスマッチング機能強化等、新会期・新会場における開催指針案および関係計画案へ更新の上、各種進捗を実施した。

※第4回正副実行委員長会議

月 日：2020年 6月30日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）
内 容：各種活動報告共有、東京オリパラ延期に伴う開催指針案・全体計画案・予算案等の修正討議、オンライン展示会企画案に係る討議

※第5回正副実行委員長会議

月 日：2020年 7月28日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
内 容：各種活動報告共有、オンライン展示会企画案等併催企画に係る討議

※第6回正副実行委員長会議

月 日：2020年 8月26日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、開催指針更新案に係る討議、オンライン展示会企画等併催企画案に係る討議

※第7回正副実行委員長会議

月 日：2020年 9月23日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：各種活動報告共有、オンライン展示会等企画併催企画案に係る討議、全体計画修正案に係る討議

※第2回実行委員会

月 日：2020年 9月23日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、開催指針修正案・全体計画修正案の承認

※第1回拡大正副実行委員長会議

月 日：2020年11月 4日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、新会期・会場決定に伴う開催指針案・全体計画案等の修正討議、併催企画案に係る討議

※第2回拡大正副実行委員長会議

月 日：2020年12月 9日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、出展勧誘計画案・来場誘致計画案・オンライン展示会等併催企画案に係る討議

※第3回実行委員会

月 日：2020年12月 9日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、出展勧誘計画案・来場誘致計画案・オンライン展示会等併催企画案の承認

※第3回拡大正副実行委員長会議

月 日：2021年 2月18日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、開催説明会案の承認、オンライン展示会実施概要案に係る討議

※第4回実行委員会

月 日：2021年 2月18日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、開催説明会案の承認、オンライン展示会実施概要案に係る討議

※第4回拡大正副実行委員長会議

月 日：2021年 3月17日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：広報推進委員会連携企画案、オンライン展示会実施概要案の承認、来場案内状制作概要案の承認、各種活動報告共有、開催説明会実施概要案、After/Withコロナへ向けた量から質への来場促進に係る討議

※第5回実行委員会

月 日：2021年 3月17日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：広報推進委員会連携企画案、オンライン展示会実施概要案の承認、各種活動報告共有、開催説明会実施概要案、来場案内状制作概要案に係る討議

2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 取締役）は、本年6月から開講の第47期包装学校ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、下記の委員会活動を推進した。

※第103回包装学校企画運営委員会

月 日：2020年6月2日（火）

場 所：包装機械会館2F会議室

内 容：第47期包装学校カリキュラムの決定
新型コロナの影響により、座学は、全てオンデマンド講座とする

※第104回包装学校企画運営委員会

月 日：2020年9月15日（火）

場 所：オンライン会議

内 容：第48期包装学校カリキュラムの検討

※第47期包装学校オンデマンド講座ビデオ配信アンケートの評価として

・受講生のペースで視聴できる（自由な時間に視聴できる。繰り返し視聴できる。）等、概ね高評価を得られた。また、課題レポートの採点結果が従来に比べ高得点であった事により、オンデマンド講座は、知識や技術が身につく講座ではないかと判断する。そこで、第48期は、リアル講座（オリエンテーション、グループディスカッション、ディベートディスカッション等）と座学オンデマンド講座とのハイブリッド型カリキュラムとする。

※第105回包装学校企画運営委員会

月 日：2020年11月12日（木）

場 所：包装機械会館2F会議室

内 容：第48期包装学校カリキュラム（講座テーマ、講師、日程）の決定

※第106回包装学校企画運営委員会

月 日：2021年1月28日（木）

場 所：包装機械会館2F会議室

内 容：第47期包装学校ディスカッションテーマ及び修了式について

3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章 氏 ストラパック株式会社 社長）は、以下の本委員会活動を通じて、国内外に向けて日本包装機械工業会（ジャパンプランド）を広くアピールし、関連業界等の連携強化を図りながら当工業会ならびに会員企業の価値向上に繋がるための活動推進に努めた。

※第14回広報推進委員会

月 日：2020年 7月17日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：2020年度委員体制・事業計画案に係る討議

※技術セミナー

月 日：2020年 9月11日（金）

会 場：オンライン開催（Zoomウェビナー）

主 題：食品業界におけるAI活用によるイノベーション
—All for one, One for all—

講 師：荻野 武 氏

キューピー株式会社 生産本部 未来技術担当テクニカル・フェロー

※第15回広報推進委員会

月 日：2020年 9月29日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：各種活動報告共有、2020年度事業計画案に係る討議

※冷食 JAPAN 2020 「日本包装機械工業会」共同ブース出展

月 日：2020年10月 7日（水）～ 9日（金）3日間

会 場：東京ビッグサイト青海展示棟（東京都江東区）

出展者：ストラパック株式会社、マキエー・エンジニアリング株式会社、
一般社団法人日本包装機械工業会（以上3社・団体、18㎡）

※冷食 JAPAN 2020 主催者セミナー

月 日：2020年10月 8日（木）

会 場：東京ビッグサイト青海展示棟（東京都江東区）

主 題：冷凍食品製造の自動化・環境対策のご提案

講 師：横村 真吾 氏

大森機械工業株式会社 営業本部 国際部 チーフ

安江 明慧 氏

株式会社フジキカイ 営業部 仙台営業所 所長

※第16回広報推進委員会

月 日：2020年12月 8日（火）

会 場：包装機械会館／オンライン

内 容：各種活動報告共有、2020年度活動計画案、およびJAPAN PACK 2022実行委員会連携事業企画案等2021年度事業計画案に係る討議

※『パッケージ&マシン通信』

体 裁：A4版／PDF形式

配 信：登録者へEメール配信

概 要：当会ウェブ機関誌「パッケージ&マシン通信」を毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報を推進

※第17回広報推進委員会

月 日：2021年 3月 2日（火）

会 場：包装機械会館／オンライン

内 容：各種活動報告共有、2021年度における全体事業計画案の承認、およびJAPAN PACK 2022実行委員会連携事業企画案、分野別活動計画案に係る討議

※第77次interpack 2020視察団【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

※ProPak Asia 2020日本パビリオン【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

※第78次PACKEXPO International 2020視察団【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

4) ISO/TC313国内審議委員会

ISO/TC313国内審議委員会（委員長：長岡技術科学大学 福田 隆文 教授（システム安全専攻））は、昨年度に引き続き、イタリアから提案された包装機械におけるEN415規格のISO化（ISO/TC313）に伴い、国内審議委員会活動及び国際会議への参加を実施した。

※ISO/TC313/WG1国際会議【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

月 日：2020年5月5日（火）～7日（木）

場 所：ドイツ／フランクフルト

※ISO国際会議対応委員会

月 日：2020年7月10日（金）

会 場：オンライン会議

内 容：N文書コメントに対する日本国意見まとめ作業

※ISO国際会議対応委員会

月 日：2020年9月25日（金）

会 場：オンライン会議
内 容：N文書コメント（150項目余り）に対する日本国意見まとめ作業

※ISO国内審議委員会

月 日：2020年9月30日（水）
会 場：オンライン会議
内 容：N文書コメント（150項目余り）に対する日本国意見まとめの承認

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2020年10月20日（火）～22日（木）
会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）
内 容：N文書コメント（150項目余り）に対する各国の審議・承認

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2020年11月17日（火）、18日（水）
会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）
内 容：N文書コメント（150項目余り）に対する各国の審議・承認

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2020年12月16日（水）、17日（木）
会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）
内 容：N文書コメント（150項目余り）に対する各国の審議・承認

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2021年2月22日（月）、23日（火）
会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）
内 容：N文書コメント（150項目余り）に対する各国の審議・承認

※ISO/TC313国際会議

月 日：2021年3月25日（木）
会 場：オンライン会議（開催国：イタリア）
内 容：全体会議 WG1（包装機械の一般事項）ドラフト版発行について

5) 技術委員会

技術委員会（委員長：伊早坂 嗣氏 株式会社川島製作所社長）は、技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定した上で、包装機械を取巻く環境変化への対応や産学・産産連携、講演会・セミナー等を計画し実施した。

※2020年度第一回技術委員会

月 日：2020年7月16日（木）
会 場：包装機械会館 2F会議室
内 容：技術委員会委員の担当役割の決定

- ①技術委員会、IOT研究会、ISO国内審議委員会は、亀田副会長が担当する。
- ②包材系テーマ、自動化系テーマに新任の委員を1名ずつ配置。
- ③IOT研究会は、技術委員会から新たに1名を配置。

④ I S O国内審議委員会は、伊早坂委員長が担当する。

※技術セミナー

月 日：2020年10月29日(木)

会 場：馬事畜産会館 聴講者：50名

内 容：セミナーテーマ：循環型社会実現に向けた容器包装の新潮流
～新型コロナ後の課題対応（脱プラ、リサイクル、紙化）、内外の市場展
望など～

講 師：有田 俊雄 氏

有田技術士事務所所長 技術士(経営工学部門・包装物流)・包装管理士

※2020年度第二回技術委員会

月 日：2020年10月29日(木)

会 場：包装機械会館 2F会議室及びオンライン

内 容：包材系（環境）、自動化系テーマについて及びセミナー・見学会の開催計
画について

※2020年度第三回技術委員会

月 日：2021年3月15日(月)

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：2021年度技術委員会活動計画について

6) I O T研究会

東京都立産業技術研究センターI O T支援の基、「I O T研究会」を発足した。
目的は、今後、求められる業界共通の課題や長期的な問題に対してI O Tを切り口とし
て、一つでも解決へ導き、包装産業業界に求められるI O Tの活用を目指す。

※ジャパンパック2019 I O Tパネル展示内容を日包工ホームページへ掲載

※研究会専任メンバー間情報交換

月 日：2020年7月16日(木)

会 場：オンライン開催

内 容：2020年度活動予定連絡

※技術セミナー（参加は、任意）

月 日：2020年9月11日(金)

会 場：オンライン開催（Zoomウェブナーでのライブ配信）

主 題：食品業界におけるA I活用 によるイノベーション

講 師：荻野 武 氏 キューピー株式会社 生産本部 未来技術担当 部長

※2020年度第一回I O T研究会

月 日：2020年10月9日(金)

会 場：包装機械会館2F（ビデオ撮影）

主 題：デジタル技術の現状と今後 -IoT、5G、AI、ビッグデータ、等-

講 師：岡部 忠 氏（I O T研究会オブザーバー）

（独）東京都立産業技術研究センター 主任研究員

※情報収集（参加は、任意）

月 日：2020年10月7日（水）

会 場：冷食ジャパン2020 東京ビッグサイト青海会場付近

議 題：情報収集

※2020年度第二回IOT研究会

包装学校オンデマンド講座 聴講

月 日：2020年12月23日（水）

会 場：オンライン会議

議 題：目標設定の議論

※技術セミナー（参加は、任意）

月 日：2020年10月29日（木）

会 場：馬事畜産会館又はオンライン開催

主 題：循環型社会実現に向けた容器包装の新潮流

講 師：有田 俊雄 氏

有田技術士事務所所長 技術士（経営工学部門・包装物流）・包装管理士

※2020年度第三回IOT研究会

月 日：2021年2月16日（火）

会 場：オンライン会議

議 題：2021年度目標設定のディスカッション

7) その他

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、特に海外での企業活動に大きな制約が生じていたことから、『新型コロナウイルス感染に伴う海外渡航等への緊急アンケート調査』を実施。その結果を踏まえ、『新型コロナウイルス感染に伴う海外活動検討会（委員長：下島敏章氏 ストラパック株式会社 社長）』を設置し、現状確認および政府をはじめとした各国の状況を確認し、会員に情報提供を行なった。

※第1回新型コロナウイルス感染に伴う海外活動検討会

月 日：2020年 8月26日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：検討会体制案および検討項目案について

※第2回新型コロナウイルス感染に伴う海外活動検討会

月 日：2020年 9月23日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：国際的な人の往来に向けた検討状況／各委員から主要国の入国情報等／検討会の情報共有及び情報発信について

4. 会員等諸会合の開催

新型コロナウイルスの感染拡大により事業の変更を余儀なくされ、2020年度事業計画に基づき、総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会の開催を進めた

が、運営方法の変更、規模の縮小、または中止となった。

1) 新年賀詞交歓会 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リース合同主催の2021年新年賀詞交歓会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止した。

月 日：2021年1月13日（水）

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

2) 歳末特別講演会

事業計画に基づき、2020年度歳末特別講演会は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を考慮し、オンラインで開催をした。

※2020年度歳末特別講演会

月 日：2020年12月2日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

テーマ：新型コロナを見据えた包装産業を取り巻く環境変化など

講 師：石谷 孝佑 氏

一般社団法人日本食品包装協会 理事長 農学博士

出席者：55名

3) 支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として東日本支部、西日本支部との合同で支部会を開催した。本年は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、初のオンラインでの開催となった。2020年度事業報告案ならびに2021年度事業計画案について報告を行い、併せて、会員企業からの意見・要望を聴取し、2021年度事業計画への反映に努めた。またCLOMA（クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス）の最新の活動状況について報告があった。

※第350回理事会において、中部支部は関東支部と統合し東日本支部、関西支部は西日本支部へ改組を承認されている。

※合同支部会

月 日：2021年3月8日（月）

会 場：オンライン開催

内 容：工業会の事業報告及び事業計画案等について／経済産業省の2021年施策概要について／CLOMAの事業概要と最新の活動状況について

出席者：54名

5. 調査、各種情報事業等に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の市場調査をはじめ、技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、パッケージ&マシン通信・ウェブサイト・メール等を通じ、広く一般に公開しわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、2019年度の生産高と輸出入高ならびに2020年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

2) 技術情報の収集・提供等

(1) 技術センター事業

技術センターの事業として、包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進に努めた。

また、機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継続する。

(2) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」(日本語版)を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布を継続した。

尚、英語版は平成29年2月中旬で販売を中止している。

3) 各種情報の発信等

(1) 機関媒体「パッケージ&マシン通信」の発信に関する事業

当会ウェブ機関誌「パッケージ&マシン通信」を毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計(経済産業省)、貿易統計(財務省)等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

(2) 電子媒体の活用に関する事業

日包工・ジャパンパックのウェブサイトでの情報発信をはじめ、メールを通じ、関連省庁からの周知依頼、当会ならびに関連団体の行事等の情報の発信に努めた。また「インターネット製品PRコーナー(日本語・英語・中国語)」の掲載を通じ、会員企業製品の需要喚起に努めた。

6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業

1) 包装学校事業

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第47期包装学校を開講した。本年度は、2020年6月の開講式・オリエンテーションから2021年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・マイクロコンピュータ制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第47期までの修了者は4,955名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

※第47期包装学校の課程別受講生(計77名)

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1) 包装機械設計技術専門課程 | 34名 |
| 2) パッケージングエンジニア専門課程 | 35名 |
| 3) マイクロコンピュータ制御技術専門課程 | 8名 |
| ① PLCメカトロ制御講座 | |

【第1期から第47期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数（人）		修了者数（人）	
	47期	1～47期計	47期	1～47期計
1. 包装機械設計技術課程	34	2886	34	2775
2. パッケージングエンジニア課程	35	2075	35	1981
3. マイコン制御技術課程	8	289	8	199
合 計	77	5250	77	4,955

※第47期包装学校開講式・オリエンテーション

月 日：2020年 7月 1日（水）

会 場：東京会場 包装機械会館2階

月 日：2020年 7月 8日（水）

会 場：大阪会場 大阪商工会議所5階

2) 青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：青木康哲氏 日本工業刃物株式会社 社長）は、以下の事業実施等を通じて会員相互の研鑽に努めた。なお、本部会活動が2021年9月に創立40周年を迎えるにあたり、同年10月8日（金）におけるKKRホテル東京（東京都千代田区）での祝賀会開催案および記念誌作成案を決定し、準備委員会を編成の上、同記念事業計画案を進捗した。

※2020年度定時総会【新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議で実施】

月 日：2020年 5月22日（金）

内 容：2019年度事業報告書（案）の承認、2020年度役員人事および事業計画書（案）の承認

※第70回幹事会

月 日：2020年 6月17日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：青年部会規定改定案の承認、本年度事業計画に係る討議

※第71回幹事会

月 日：2020年 6月30日（火）

会 場：オンライン

内 容：夏季セミナー計画等本年度事業計画案に係る討議

※第72回幹事会

月 日：2020年 7月13日（月）

会 場：オンライン

内 容：夏季セミナー開催および本年度事業計画指針に係る討議

※第73回幹事会

月 日：2020年 9月 8日（火）

会 場：オンライン

内 容：夏季セミナー計画等本年度事業計画案に係る討議、工業会情報サービス活用に係る討議

※夏季セミナー

月 日：2020年 9月16日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

主 題：①新型コロナウイルスの影響を踏まえた経済産業政策の在り方
について

②未曾有の危機を乗り越える企業経営の在り方
～フェイスシールドの製作で医療現場に貢献～

講 師：①岡田 淳 氏

経済産業省 製造産業局 産業機械課 部品・一般産業機械一係長

②羅山 能弘 氏

株式会社ラヤマパック 代表取締役社長

※第74回幹事会

月 日：2020年12月14日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：創立40周年記念事業計画等事業計画案に係る討議

※第1回創立40周年記念事業準備委員会

月 日：2021年 2月18日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：事業概要案、全体計画案、予算配分、役割分担等に係る討議

※第75回幹事会

月 日：2021年 3月 4日（木）

会 場：包装機械会館（東京中央区）／オンライン

内 容：2020年度事業報告書案、および2021年度における役員体制案、事業計画書案・担当編成案の承認

※青年部会名簿（電子版）の適宜更新

※新年情報交換会【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

3) 各種セミナー・講習会

(1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の開催

日本包装機械工業会は、（一社）安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会を開催した。

職業能力開発総合大学校（東京都小平市）

① 機械の安全化と国際安全規格編 （2日）

2020年12月10日、11日

② 機械安全におけるリスク低減編 （2日）

2021年 1月14日、15日

③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認編 （2日）

2021年 2月 8日、 9日

④ 電気制御システム編 (2日)

2021年 3月 4日、 5日

(2) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の開催

2020年度事業で開催するために、高度ポリテクセンターと協議し、下記日程で開催した。

関東会場 高度ポリテクセンター 2020年11月19日、20日

関西会場 ポリテクセンター関西 2021年 2月17日、18日

7. 国の施策に関する事業

1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は2016年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体として、2016年8月から証明書の発行を開始し、累計の発行数は7,558通で、その内訳は正会員5,184通、賛助会員702通、非会員1,672通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行(1,315通)の内訳は次の通りである。

正会員 880通(証明書発行手数料は1通に付 2,000円)

賛助会員 92通(同上)

非会員 343通(証明書発行手数料は1通に付 10,000円)

8. その他関連事業

1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに本年度より新たに会員向けサービスが拡充された、出資業務・アドバイザー業務などの利用促進に努めた。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努めた。

3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

4) 関連産業との連携

包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携をはじめ、官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努めた。

(1) 一般社団法人日本食品包装協会との連携

歳末特別講演会において、一般社団法人日本食品包装協会 理事長の石谷 孝佑氏による講演会を実施した。

(2) CLOMAに関する事業 合同支部会

地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみの問題に対する官民連携「CLOMA(クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)」において活動を行った。

また合同支部会でCLOMAの活動報告をPRした。

9. 会員の現況

2021年3月31日現在の会員数は正会員141社、賛助会員116社、合計257社となっている。2020年度の入会、退会の状況は次の通りである。

1) 入 会

<正会員 1社>

株式会社J・P・Fエンジニアリング

<賛助会員 1社>

キャディ株式会社

2) 退 会

<賛助会員 3社>

ニチバン株式会社、株式会社バルーフ、株式会社サンエー化研

3) 会員登録の変更

なし